



米丸文武議員

## さつま梅の振興について

町長／全町的な梅の里づくりを進める

**米丸** 旧薩摩町で取り組んできた「さつま梅」の生産を新町ではどのように進める考えか。

**町長** 梅は初期投資や経費が他の作物よりかからない。全量販売先が決まっているので安心して栽培でき、安定した経営が



広く植えられている梅の木

望め、梅振興会の基盤もあることから、やる気のある農家へ梅の特性の有利性等を積極的に紹介するなど、全町的な「梅の里づくり」を進めます。

### 生産者の収益確保は

**町長／高付加価値型農業につなげた**

**米丸** 梅を主要作物とするには、後継者や新規生産者の確保と生産者の収益確保が必要であるがその対策を伺う。

**町長** 減農薬、減化学肥料栽培に取り組み、エコファーマーを取得し、安心・安全なさつまの梅、ミネラル栽培など消費者ニーズにあった産地づくりを目指し、2次加工場の誘致やさつまをイメージさせる梅加工品が開発されれば高付加価値につながると信じ「梅の里づくり」に努めてまいります。



柳田隆男議員

## 農村定住策を図れ

町長／専門スタッフ配置で検討

**柳田** 空き家が増え、遊休農地も増大しつつある。団塊世代が定年を迎えるが、農村定住を支援する考えはないか。

**町長** 定住対策専門スタッフの配置による各種施策を総合的に展開し、団塊世代のU・イターンをターゲットとした取り組みも検討しながら、農村の魅力が町内外に情報発信し、農村への定住に努めてまいります。



いちご栽培に取り組まれる1ターン農家

## 農業振興と農高の連携は

町長／学校と連携し県に要請

**柳田** 今年の県畜産推進会では、特に高校生活躍が目立った。地域農業の核としての農高への支援策はどうか。

**町長** 学校の教育方針、カリキュラムの設定をはじめ、施設設備、予算確保などの問題があると思うが、学校、生徒が必要とすることについて学校と連携し、県及び県教育委員会へ働きかけることにより本町の農業振興を図りたいと思います。